

# 広島の田舎は宝の山

～日本の農村資源を都市のニーズとつなげば  
10兆円産業が動き出す～

概要

日本の農村には資源、すなわち「宝」が、膨大にあります。耕作放棄地、未利用の森林資源、観光資源、自然エネルギー資源などです。これらの農村資源を上手に活用すれば私は合計10兆円の産業と100万人の雇用創出が可能だと考えています。これらについて、みんなで考えてみませんか。

日時

平成26年10月6日(月) 18:30-20:00

場所

サテライトキャンパスひろしま (広島市中区大手町一丁目5-3 広島県民文化センター5階)

講師

曾根原 久司 特定非営利法人えがおつなげて代表理事  
内閣府地域活性化伝道師

主な対象者

農業の事業化・経営効率化・農産物流通拡大等を考えている人、  
その指導・コンサルティング従事者、従事希望者(学生も可)

受講料

無料

申込方法

県立広島大学ホームページの「申込フォーム」からお申込みいただくか、「参加申込書」をダウンロードし所定事項を記入の上、電子メールに添付、FAXまたは郵便でお送りください。お持ちいただいたものも受け付けます。

ホームページURL: <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/agri.html>

曾根原 久司 氏の略歴

1961年長野県生まれ。NPO法人えがおつなげて代表理事。内閣府地域活性化伝道師。山梨県立農業大学校講師。山梨県コミュニティビジネス推進協議会会長。銀行などの経営指導を通し日本の未来に危機感を抱き、この再生モデルを創造すべく、東京から山梨県北杜市へと移住。2001年、NPO法人えがおつなげてを設立。代表として『村・人・時代づくり』をコンセプトに農業を中心とした都市農村交流事業を展開している。

【主な著書】

- 『日本の田舎は宝の山』(日本経済新聞出版社)
- 『農村起業家になるー地域資源を宝に変える6つの鉄則ー』(日本経済新聞出版社)

NPO法人えがおつなげての概略

山梨の限界集落地域で、耕作放棄地を都市部のボランティアを募り開墾した農場を運営するほか、三菱地所、博報堂など都市部の企業と提携した「企業ファーム」を実施するなど、都市と農村の交流を通じた農村再生活動を実践している。

【最近の受賞履歴】

- ディスカバー農山漁村の宝 優良事例(H26年度)/主催:内閣官房・農林水産省
- 日経ソーシャルイニシアチブ大賞 大賞(H26年度)/主催:日本経済新聞社
- 日本農業賞大賞受賞 食の架け橋の部(H25年度)/主催:日本放送協会・全国農業協同組合中央会・都道府県農業協同組合中央会
- 第9回エコツーリズム大賞 特別賞受賞(H25年度)/主催:環境省・日本エコツーリズム協会
- やまなし産業大賞経営品質大賞部門優秀賞受賞(H25年度)/主催:山梨県

地図

〒730-0051  
広島市中区大手町一丁目5-3

